

「第45回 鴨叡会・生命分子化学科セミナー」

◆講師◆ 田中 俊一 先生

立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構 助教

◆演題◆ 酵素の可能性を拓げる研究
～酵素工学の新たな挑戦～

◆日時◆ 平成30年9月28日(金)9:30～

◆場所◆ 稲盛記念会館 101講義室

酵素は現在、食品、医薬、診断、化粧品、繊維、製紙、洗剤、環境浄化など多くの産業分野で利用されています。一方、近年の酵素利用分野の拡がりに伴い、用途もより複雑なもの、高度なものへとシフトしてきています。酵素も万能ではないため、用途によっては基質特異性などが不十分で実用に至らないケースも少なくありません。このような場合、酵素の触媒機能を人工的に改変する酵素工学が重要となりますが、従来の手法ではその有用性に限界があります。

本セミナーでは、酵素工学の有用性を拓げる新たな手法として開発した「人工結合タンパク質を介した酵素触媒機能の改変(Enzyme Engineering by Proxy)」について、着想に至った経緯、これまでの研究成果、そして今後の展望を紹介します。

◆連絡先◆ 生命構造化学研究室 高野和文
takano@kpu.ac.jp, 075-703-5654